

平成27年6月29日

## 原料費調整制度に基づく平成27年8月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成27年8月検針分の単位料金を、平成27年7月検針分に比べ、 $1\text{m}^3$  (45MJ)につき7円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成27年3月～平成27年5月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に $32\text{m}^3$ のガスをお使いになる標準家庭で平成27年7月検針分と比較して、224円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成27年8月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1か月の ご使用量	料金表A 0～ $20\text{m}^3$	料金表B 21～ $80\text{m}^3$	料金表C 81～ $200\text{m}^3$	料金表D 201～ $500\text{m}^3$	料金表E 501～ $800\text{m}^3$	料金表F $801\text{m}^3$ ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,026.00	1,198.80	2,062.80	6,382.80	12,430.80
調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ )	151.43	137.39	135.23	130.91	122.27	114.71
(参考) 7月 調整単位料金	158.43	144.39	142.23	137.91	129.27	121.71

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1か月のご使用量 $32\text{m}^3$ (45MJ/ $\text{m}^3$ )	平成27年 7月	平成27年 8月	増減
適用料金(円/月)	5,646	5,422	▲ 224

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)			
	平成27年2月～平成27年4月 の平均 (7月 検針分)	平成27年3月～平成27年5月 の平均 (8月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格 (a)	73,990	66,060	▲ 7,930
LNG	74,500	66,150	▲ 8,350
LPG	62,530	63,310	780
基準平均原料価格(b)	82,470		
差額(a-b)	▲ 8,400	▲ 16,400	▲ 8,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 66,150 && \times 0.9545 \\ + & \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 63,310 && \times 0.0461 \end{aligned}$$

66,058.76

↓(10円未満四捨五入)

66,060 円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$66,060 \text{ 円/t} - 82,470 \text{ 円/t} = \text{▲ } 16,410 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 16,400 円/t

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \text{▲ } 16,400 \text{ 円} \quad /100\text{円} \times 0.08748^*$$

$$= \text{▲ } 14.35 \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切捨て})$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 32m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	平成27年 7月	平成27年 8月	増減
適用料金(円/月)	5,646	5,422	▲ 224

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,026.00円)

+ 調整単位料金(151.74円) + ▲ 14.35 (円) × 32m<sup>3</sup>

料金改定時の基準単位料金 (税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス 1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（82,470円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス 1 m<sup>3</sup>あたり 0.08748円（0.081円に1.08(消費税)を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が131,950円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は131,950円としてガス料金の調整を行います。